

RSウイルス感染症はどんな人がかかるの？

RSウイルス感染症は、大人も子供もかかる呼吸器感染症です¹⁾。RSウイルスは、一般的には乳幼児の呼吸器感染症の原因ウイルスとして知られていますが、高齢者や基礎疾患のある成人についても、症状が重くなり肺炎を引き起こすこともあることが報告されています²⁾。



特に気をつけたいのはどんな人？

大人の場合³⁾



高齢者



喘息、COPD、
心疾患など慢性的な
基礎疾患がある人



免疫機能が
低下して
いる人*

乳幼児の場合¹⁾

- ・基礎疾患を有する小児(特に早産児や生後24か月以下で心臓や肺に基礎疾患がある小児、神経・筋疾患やあるいは免疫不全の基礎疾患を有する小児等)
- ・生後6か月以内の乳児



RSウイルス感染症は、喘息やCOPD、心疾患などの基礎疾患の増悪の原因となります⁴⁾⁵⁾。

* 病原体に対する抵抗力が弱まり、感染症などにかかりやすくなっている状態

<https://www.tyojy.ac.jp/net/kenkou-tyouju/rouka/meneki-rouka.html>

1) 厚生労働省RSウイルス感染症Q&A (令和6年11月15日改訂)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kakaku-kansenshou19/rs_ga.html (アクセス: 2024年2月)

2) IASR Vol. 39 p211-212: 2018年12月号「成人におけるRSウイルスの集団感染」

3) IASR Vol. 35 p. 147-148: 2014年6月号「成人・高齢者におけるRSウイルス感染症の重要性」

4) Centers for Disease Control and Prevention (CDC), RSV in older adults and adults with chronic medical conditions.
<https://www.cdc.gov/rsv/high-risk/older-adults.html> (アクセス: 2024年2月)

5) Ivey KS et al. J Am Coll Cardiol 2018;71(14):1574-1583

RSウイルス感染症の症状は？

RSウイルス感染症の症状としては、発熱、鼻汁などの軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です¹⁾。

RSウイルスの潜伏期間と症状の経過²⁾

潜伏期間 4～5日

発熱、鼻水、咳などの
上気道炎の症状で発症



多くの方は

数日間回復

一部の方は

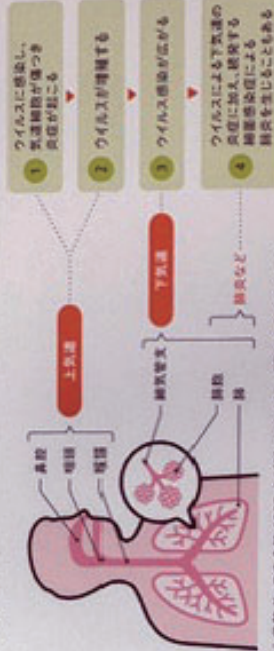
喘鳴³⁾、呼吸困難などの
下気道炎の症状が現れる
数日～1週間ほど
かかって回復

中には、
肺炎などに
発展することも
あります



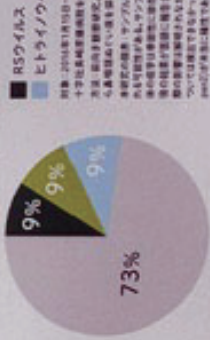
RSウイルスは肺炎を引き起こすきっかけにも¹⁾

RSウイルスなどのウイルス感染がきっかけで、肺炎などが引き起こされることがあります。高齢者や基礎疾患のある人では特に注意が必要です。



肺炎患者におけるRSウイルスの検出が報告されています³⁾

肺炎患者における検出ウイルス(n=22)



1) 厚生労働省RSウイルス感染症Q&A (令和6年1月15日改訂)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/qa_qa.html (アクセス: 2024年2月)

2) 堤 周幸, ウイルス, 55(1):77-84, 2005

3) Kaku N et al.: Infect Chemother 2018;124(9): 734-738

どうやって予防したらいいの？

RSウイルス感染症に対する予防には、体調が悪い時には休むことや、60歳を過ぎた人はRSウイルス感染症の予防接種があります。

ことや、飲食前の手洗いなどの日々の感染対策が大事です。また、RSウイルス感染症の予防接種があります。

RSウイルス感染症の感染経路

RSウイルス感染症の感染経路は、飛沫感染・接触感染です¹⁾。



飛沫感染



接触感染



麻疹や水痘、
猩紅熱のように
空気感染はしません

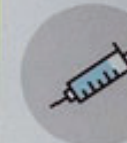
RSウイルスの感染を防ぐための対策¹⁾²⁾



鼻汁、痰などの
呼吸器症状がある時は
マスクを着用



手を石鹸と水で
20秒以上かけて、
こまめに洗う



60歳以上の方は
予防接種という
選択肢があります

60歳を過ぎたらRSウイルス
感染症の予防接種があります。
医師にご相談ください。



※ 予防接種はRSウイルス感染症を完全に防ぐものではありません。

1) 厚生労働省RSウイルス感染症Q&A (令和6年7月15日改訂)
https://www.mhlw.go.jp/bunysi/kenkou/kakkaku-kansenshou19/rs_qa.html (アクセス2024年2月)

2) Centers for Disease Control and Prevention (CDC), 2020. RSV prevention.
<https://www.cdc.gov/rsv/about/prevention.html> (アクセス2024年2月)

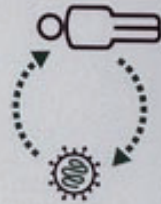
RSウイルス感染症 Q&A

Q RSウイルス感染症にかからないためにはどうしたらいいですか？

A RSウイルスの感染を防ぐためには、感染者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」、ウイルスがついた手指や物（ドアノブ、手すり、おもちゃ、など）を触ったりすることによる「接触感染」への対策を行い、ウイルスに接触する機会をできるだけ減らすことが大切です¹⁾。60歳以上の方は予防接種という選択肢もあります。

Q RSウイルス感染症に一度感染すればまた感染することはありますか？

A RSウイルスは、麻疹（はしか）や水痘（水ぼうそう）などのウイルス感染と違い、一度感染しても免疫が十分に得られません。そのため、RSウイルスに一度感染した後も、生涯にわたって何度も感染と発症を繰り返します¹⁾。



Q RSウイルス感染症に対する特効薬はありますか？

A 現在、乳児ではRSウイルス感染症の発症を抑えるお薬がありますが、成人ではRSウイルス感染症に対する特定の治療法はありません。そのため、基本的には症状を和らげるための対症療法が行われます¹⁾。

Q ワクチンについて詳しく知りたいのですが？

A 60歳以上の方にRSウイルス感染症を予防するワクチンという選択肢があります。詳しくは医師にご相談ください。



¹⁾ 厚生労働省RSウイルス感染症Q&A（令和6年1月15日改訂）
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kakaku-kansenshou19/rs_qa.html（アクセス 2024年2月）